



※イギリスでの開催時の様子

英国王立研究所

英国で約2000年続く
人気の科学実験講座

科学実験講座

The Royal Institution Christmas Lectures

ウイルスと人類の叡智^{えいち}

多くの命が危険にさらされた、新型コロナウイルスの世界的大流行。
人類はこれまでに何度もウイルスによる危機に直面してきました。

ウイルスって何？ 科学はどう立ち向かってきた？
ウイルスは医療をどう変える？

最前線で活躍する研究者が、
子どもたちの疑問に分かりやすく答えます。



Professor Ravindra Gupta

ラヴィンドラ・グプタ教授

英国・ケンブリッジ大学医学部ケンブリッジ治療免疫学・感染症研究所。エイズウイルス（HIV）の研究のほか、新型コロナウイルス対策では英国政府へのアドバイスも行っている。2020年には米TIME誌の「世界で最も影響力のある100人」に選ばれた。



2023 9/2 sat-3sun

東京工業大学 大岡山キャンパス(70周年記念講堂)

午前の部 10:30-12:00

午後の部 14:00-15:30

(開場は各回開演の30分前)

<https://events.yomiuri.co.jp/christmas-lectures/2023>



The Royal Institution 英国王立研究所とは？

1799年に設立されて以来、英国の科学の歴史において重要な役割を果たしてきました。人々が科学についてより深く身近に考えることができる世界を目指しています。

科学実験講座とは？

英国・ロンドンでは毎年12月に、「クリスマス・レクチャー」と呼ばれる子ども向けの科学実験講座が開かれています。1825年に「電磁気学の父」と呼ばれたマイケル・ファラデーが始めて以来、約200年に渡って開催され、多くの子どもたちが心待ちにする冬の風物詩として知られています。ノーベル賞受賞者を含む一流の科学者がデモンストレーションを通じて科学の楽しさを伝え、観客がユニークな実験に参加するこの講座は、1990年に初めて日本に紹介され、今回で30回目を迎えます。



英国王立研究所でレクチャーするマイケル・ファラデー (1791-1867) / 1856頃
Blakley, Alexander (1816-1903) / © Royal Institution / Bridgeman Images

今年のレクチャーは、 「ウイルスと人類の叡智」がテーマです。

世界中で何百万人もの命が危険にさらされた新型コロナウイルスだけでなく、天然痘やエイズなど、私たちは昔から様々なウイルスに脅かされてきました。

その一方で、多くの科学者がウイルスとの戦いに挑み、治療法を見つけ、予防のためのワクチンを開発してきました。

ウイルスとの戦いによって、医学は大きく進歩してきたのです。新型コロナウイルスとの戦いでも、ウイルスの遺伝子の情報を明らかにし、新しい技術を使ったワクチンの開発にも成功しました。

これから私たちの生活がどう変わるのか、
ウイルスとの戦いの最前線に立つ研究者が、分かりやすく説明します。

2023 **9/2sat-3sun**
東京工業大学 大岡山キャンパス (70周年記念講堂)

午前の部 10:30-12:00

午後の部 14:00-15:30

(開場は各回開演の30分前、公演中休憩なし)

チケット料金 (税込・同時通訳機付き)	一般券	1,500円
	2枚セット券	2,600円 ※枚数限定

※チケット1枚につき、同時通訳機を1つ貸し出します。
※未就学児童は無料で入場可能ですが、会場にベビーカー置き場はありません。また、公演中に他のお客様の聴講に影響がある場合は、ご退出をお願いする場合がございます。
※イベントの様態を撮影した写真、動画が新聞、関連団体のホームページ、広報誌、SNSなどに公開されることがあります。あらかじめご了承ください。
※公演中止の場合を除き、お客様の体調不良及び新型コロナウイルス感染症によるチケットの払い戻しはいたしません。

チケット	一般先行	6月24日[土]	AM10:00～
	一般販売	7月1日[土]	AM10:00～

プレイガイド

イープラス <https://eplus.jp/> **スマホで**



東京工業大学 大岡山キャンパス (70周年記念講堂)

東京都目黒区大岡山2-12-1
大岡山駅徒歩5分(東急大井町線・目黒線)

お問い合わせ 読売新聞東京本社次世代事業部
jdai@yomiuri.com (平日10:00～17:00)